

# デジタルミュージアムを活用して 江戸時代の旅を探る

岐阜関ヶ原古戦場記念館  
山形 隆司

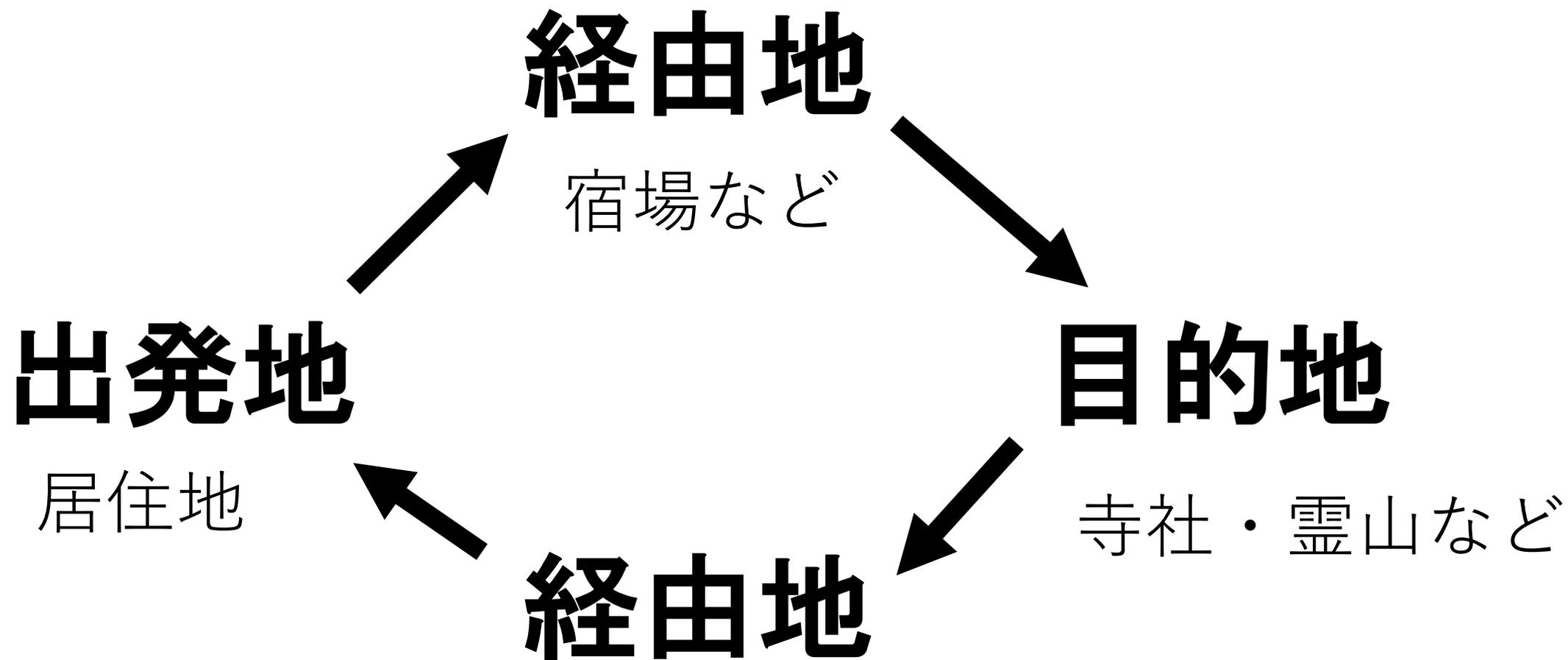
# 『伊賀市史』 (第2巻通史編近世) 2016年

## 第6章第2節「旅と巡礼」

- ・伊勢参り
- ・富士山参詣
- ・西国巡礼
- ・温泉(湯治)



# 旅の記録の所在



# 1. 出発地と目的地の史料

—富士山を例として—



# 記録の種類

# 出発地

## 道中日記

大垣家文書  
(旧大滝村)



ホチ、世知活、之の  
一金、五兩、名、き、年

由、高、之、者、部、来、伯、部、作、之、分

似、き、之、年、之、づ

先、之、部、之、り

一、也、之、山、取、部

一、也、之、者、部、者

又、持、之、也

也、持、之、之、也

似、き、之、年、之、づ、之、づ

似、き、之、年、之、づ

一、也、之、者、部、者

一、也、之、者、部、者、持、之、之、也

一、也、之、者、部、者

似、き、之、年、之、づ

似、き、之、年、之、づ、之、づ

ホチ、世知活、之の

一、也、之、者、部、者

似、き、之、年、之、づ、之、づ

似、き、之、年、之、づ、之、づ

似、き、之、年、之、づ、之、づ

大垣家文書「富士山江参詣手覚帳」 (明治5年)

# 石造物



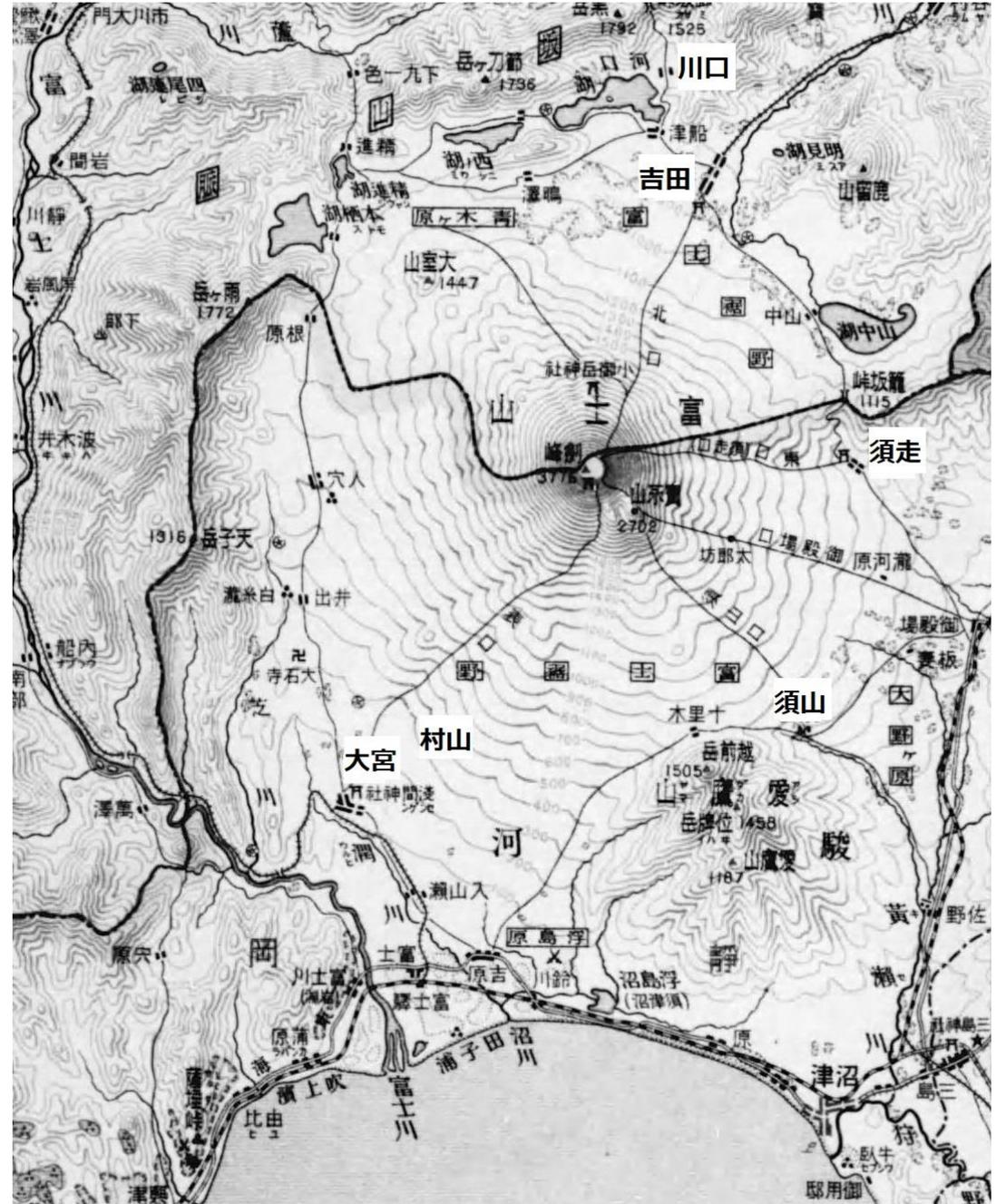
菅原大辺神社  
(大野木)



菊昌院 (法花)

# 江戸時代の富士山 登山口集落の位置

『新世紀日本地図 新訂版』  
(三省堂、1930年) を改変





裾野市立富士山資料館

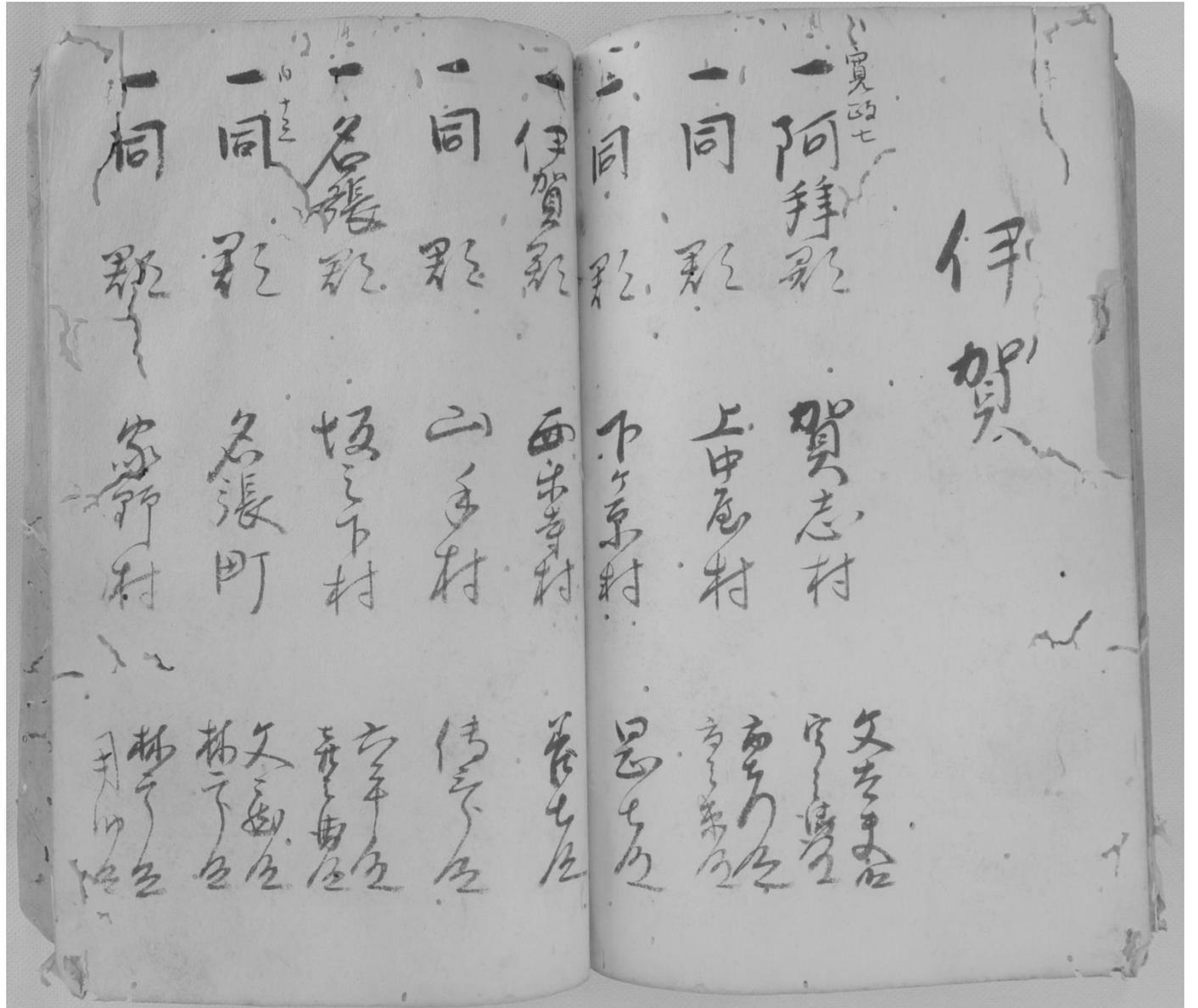


須山集落

# 記録の種類

# 目的地

## 宿帳・道者帳 (休泊者名簿)



裾野市立富士山資料館所蔵  
「須山口登山道者姓名簿」

# 寛政7年(1795)～明治23年(1890)

記載内容

武家	1件
阿拝郡	20件
伊賀郡	26件
名張郡	17件
山田郡	26件

# 富士山登山口の寺院（興法寺）の記録

一、矢たて 伊賀室二ヶ所内  
寛文十三年卯六月（中略）

添室 伊賀室二ヶ所内

伊州阿屋郡上野赤坂明覚院、つけ村先達左  
門、山田郡千戸村阿波半平・林底再建、伊  
賀室卜云

「旧大鏡坊富士氏文書」

# 伊賀の記録

小富士山 一宮村

寛文三年、当国富士先  
達上野赤坂ノ妙覚卜言  
山臥以他力、宝殿造立



『伊水溫故』

# 宝永4年(1707)11月の記事

一、赤坂町山伏明覚院  
悴・権七儀、先達  
而之大地震之節、  
富士之麓村山浄蓮  
寺二而潰家二敷れ  
相果候



『永保記事略』

## 2. 経由地の史料

—たわら屋の講看板を例として—



初瀬街道交流の館たわらや

# たわら屋 講看板

江戸～明治時代

三重県指定文化財

(昭和45年2月25日)

76枚 附2枚



# 講籠燈

永 講元 植田治兵衛  
と 燈籠講  
代 世話人 (焼印)



表



裏



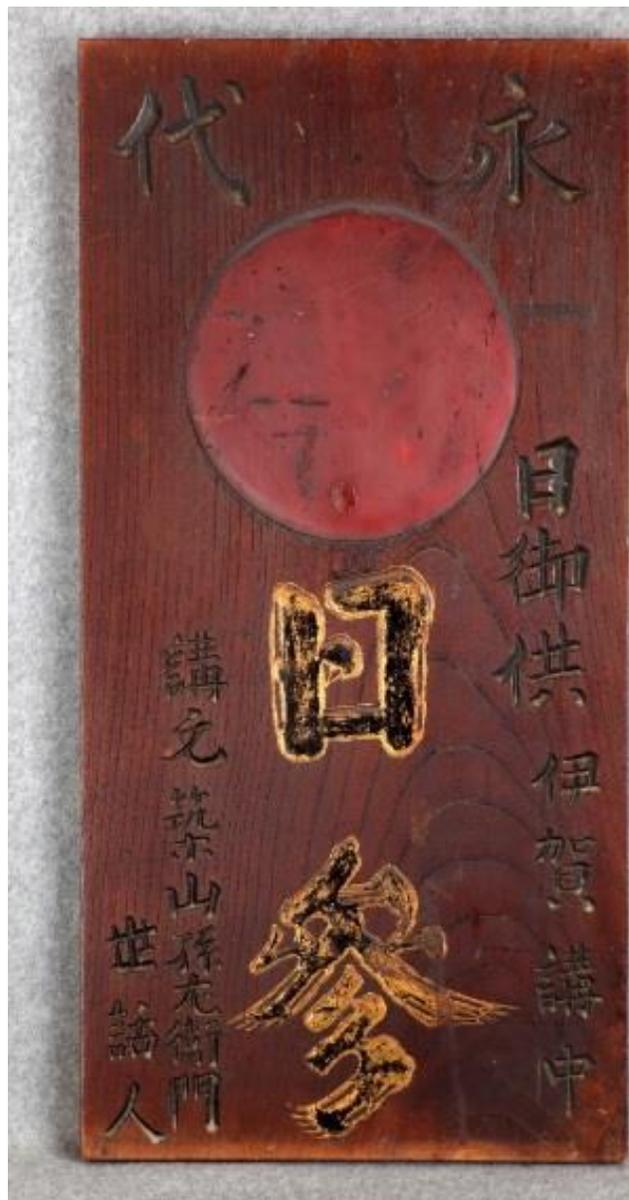
# 宿屋へ向けた注意書

1. 休泊者を丁寧に扱い、この帳面に張り紙などして、別の宿をすすめないように。
2. 道中にて間違いがあった際には世話をよろしく。
3. 好まざる酒肴を出し、高額な出費をさせないように。
4. 無理に遊女などをすすめないように。

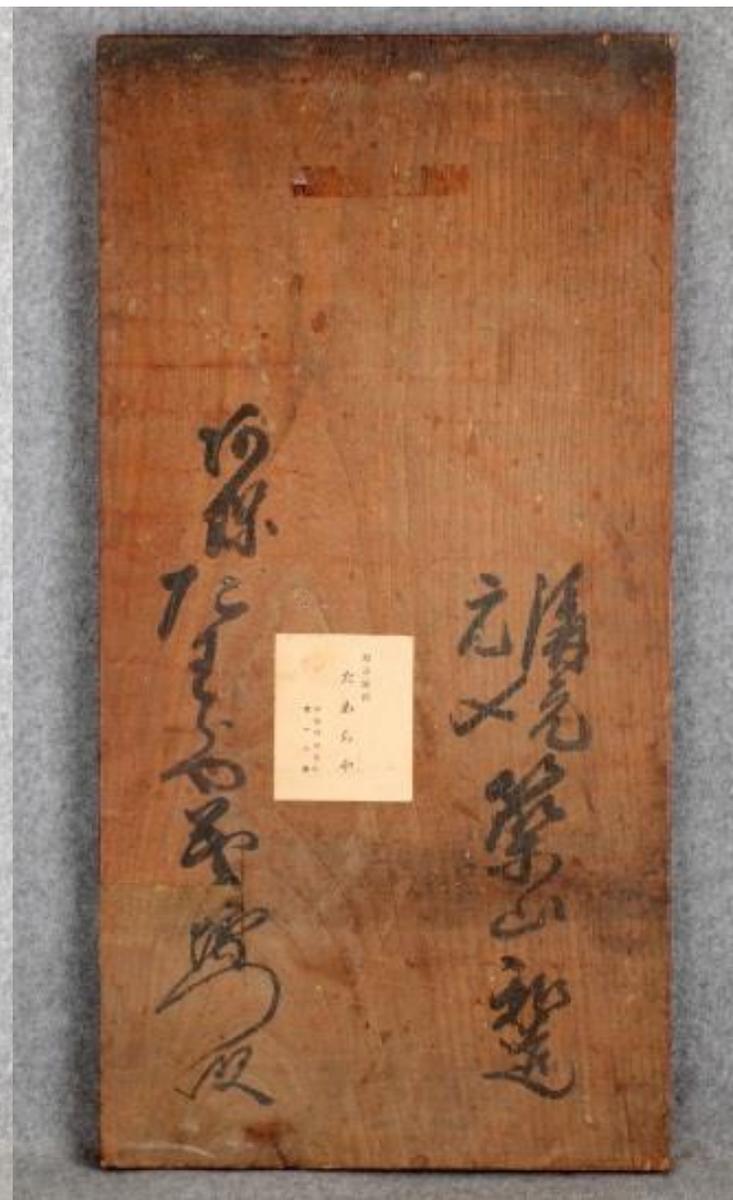
# 永代 ● 日参講

代	●	永
講元	日参	日御供
築山孫左衛門		伊賀講中
世話人		

阿保	講元
たわらや義右衛門殿	元
	築山和造



表



裏

# 『永代〇日参万人講道中記』

## 講加入者への特典

1. 伊勢神宮の二ノ鳥居内にて祈祷を受け御神酒を頂戴できる。
2. 上野天神宮（菅原神社、上野東町）において道中安全祈願を受けることができる。
3. 津の国府阿弥陀如来（恵日山観音寺）が無料で開帳される。
4. 所々の川の舟渡し賃が無料になる。

「島崎家文書」（伊賀市）

# デジタルミュージアムへの期待

- 伊賀のことを深く知る
- 伊賀と他地域とのつながりを知るきっかけ
- 伊賀の歴史の魅力を発信

ありがとうございました。